

くりの図書館に行こう！



絵本の世界へ出かけよう

子どもの感性や、想像力を豊かにしてくれる絵本。読み聞かせによって、子どもとの大切な時間も生まれます。絵本週間に合わせて、絵本に関する図書館の取り組みを紹介します。

3月27日～4月9日・絵本週間

「にんぎょひめ」や「雪の女王」などで有名な童話作家アンデルセン。4月2日はアンデルセンの誕生日で「国際子どもの本の日」です。毎年3月27日から2週間は、絵本の発展、教育や家庭に絵本が広く定着することを願って、絵本週間が設けられました。

絵本にふれる・おはなし会

くりの図書館では、子供たちが絵本とたくさん触れ合うことが出来るよう様々な取り組みを行っています。毎月1回栗野と吉松で交互に行われるおはなし会のほか、出前おはなし会として、施設や学校等で絵本の読み聞かせを行っています。

絵本の読み聞かせは子どもと本をつなぐきっかけになり、子供たちはそのお話の世界を体験することが出来ます。

0歳のお子さんからでも楽しめるように絵本の読み聞かせだけでなく、手遊びやわらべ歌を取り入れるなど、おはなし会によって様々な取り組みが行なわれています。



▲子育て支援センターばかばか出前おはなし会の様子



開館記念おはなし会

日時：4月11日（日）10：30～

場所：くりの図書館

予約は必要ありません。図書館内に、R2年度のイベント等の写真展示も行います。ぜひ、ご家族やお友だちを誘って、遊びに来てください。

絵本と出会う・ブックスタート

町では乳児健診（生後3～4か月児対象）の際に絵本をプレゼントするブックスタートを行っています。まだ字を読んだり、言葉の意味を理解するのは難しい赤ちゃんでも、それぞれの方法で絵本を楽しんでいます。絵本をじっと見つめたり、ページをめくるたびに笑ったりする赤ちゃんの姿に、保護者も驚き、笑顔になります。赤ちゃんが絵本を開く楽しさを分かち合うひと時です。



絵本を見つける



くりの図書館では、赤ちゃんの絵本や乗り物の絵本、知識の絵本などジャンル別に探すことが出来るようになっています。絵本コーナーは、より多くの子ども達の手にとってもらえるようにほかの棚と比べて一段低くなっています。また、好きな本があれば気軽に手に取って読み聞かせをすることもできる「おはなしコーナー」を設けていますので、ご利用ください。

図書館には様々な紙芝居や大型絵本があり、貸出も行っています。小さな絵本とはひと味違った魅力が楽しめる人気です。パネルシアターなどの小道具も貸出できますので、スタッフに声をかけてください。

紙芝居の枠（舞台）も借りられます。詳細は図書館でお尋ねください。



開館時間：午前10時～午後6時（毎週金曜日は午後7時まで）

休館日：毎週月曜日、祝日（こどもの日、海の日、文化の日を除く）、毎月第4木曜日、年末年始（12/28～1/4 月曜休館含む）

問合せ先：くりの図書館 Tel 74-1821